

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイル		
○保護者評価実施期間	2025年9月1日		～ 2025年9月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年9月1日		～ 2025年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	迅速かつ柔軟な対応で子どもの思いに寄り添い、安心感を重視して支援を行っています。SNSで活動の様子や方針を丁寧に発信し、保護者との信頼関係を構築。連絡・報告を徹底し、透明性とレスポンスの速さが強みとなっています。	連絡窓口を一元化し、情報が職員全体で共有される体制を整えています。電話、SNSなど多様な手段で保護者につながることで、迅速で確実な連携を実現。家庭と事業所の情報共有を円滑に行える工夫がされています。	今後は家庭との連携に加え、保育園や幼稚園とも情報共有を進め、子どもの支援方針を一貫させていきたいと考えています。関係機関との協働体制を強化し、より包括的で切れ目のない支援を実現することが今後の課題です。
2	穏やかで温かな対応を大切に、子どもが安心して過ごせる環境づくりに努めています。一人ひとりの特性やペースを尊重し、丁寧に関わることで自己肯定感を育む支援を実践している点が事業所の強みです。	定期的なミーティングで児童の様子や課題を全職員で共有し、支援方針の一貫性を保っています。急な変化にも対応できるよう、余裕を持ったスケジュールを組むことで、落ち着いた環境と柔軟な支援を両立しています。	今後も子ども一人ひとりの情報を確実に共有できる体制を強化し、支援の質をさらに高めていきたいと考えています。スタッフ間の連携を密にし、継続的で一貫した支援が行える環境づくりを目指します。
3	子ども達が通うことを楽しみにし、安心して過ごせる居場所として定着しています。長期的な利用が多く、継続的な関わりを通して成長や発達を丁寧に支援できる点が、当事業所の大きな強みです。	子ども達の主体性を尊重し、自分の考えや行動を大切にできるよう支援しています。失敗や困難も成長の一部として受け止め、他者との比較を避けながら、一人ひとりの声に丁寧に耳を傾ける姿勢を大切にしています。	今後も子ども達の様子を丁寧に観察し、興味や意欲を引き出す関わりを大切にしていきます。好奇心を刺激する活動や声掛けを工夫し、より主体的に楽しめる環境づくりを進めていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の児童発達支援センターとの連携が十分に行われておらず、スーパーバイズや助言、研修を受ける機会を設けられていないことが課題。	スタッフの人的・時間的余裕が限られており、児童発達支援センターとの連携に必要な調整が難しい。さらに、相談窓口や連絡手順が明確でなく、スーパーバイズや助言の依頼が継続的に行えないことが要因。	児童発達支援センターとの定期的な情報交換や研修参加の機会を設け、連携の仕組みを明確化する。窓口や依頼手順を整理し、業務負担を軽減しながら助言・スーパーバイズを受けやすい環境を整備することが必要。
2	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の子もたちと活動する機会が少なく、地域とのつながりが希薄になっていることが課題。	日常業務が多く、地域機関との連携や交流活動に割ける時間が不足している。放課後児童クラブや児童館との関係構築が進まず、交流のきっかけをつくる機会も少ないことが要因。	放課後児童クラブや児童館と日常的な情報共有を行い、小規模でも実現可能な合同活動を企画する。無理のない範囲で交流を継続することで、地域との信頼関係を築いていく工夫が求められる。
3	事業所の行事に地域住民を招くなど、地域に開かれた運営ができておらず、地域交流の機会を創出できていないことが課題。	行事の企画・運営を担う人員が不足しており、安全管理や責任範囲の整理も十分でない。地域との関係が希薄なため、住民を招いた活動を実施するための体制が整っていないことが要因。	地域住民を招く行事を小規模・短時間から始め、リスク管理や役割分担を明確化する。地域団体や自治会と協力し、負担を分散しながら安全に運営できる体制を少しずつ構築していくことが必要。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマイル

公表日 令和7年11月1日

利用児童数 42

回収数

19

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1	0	3		ホワイトボードでの見出し提示や活動空間の使い分けを継続し、よりわかりやすい環境構成となるよう工夫を重ねます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	2	0	0		一人ひとりの特性理解を深め、支援内容をチームで共有しながら、より専門性の高い関わりを実践していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	2		支援内容と公表情報の整合性を定期的に確認し、実際の支援に即したプログラム内容へ更新を行っていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1	0	1		引き続き子どもの支援に必要な項目を適切に設定し、具体的な支援内容を設定していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	0	1		チームで支援の内容を話し合いながら、より効果的な支援プログラムを提供します。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	4	1	7		まずは安全に実施できる範囲で地域交流の機会を検討し、段階的に取り組みを進めます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1	2	3		家庭との連携を深めるため、保護者向けの個別相談や情報共有の機会を設け、今後は研修等の実施も検討します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1	1	0		SNSを活用し、日常的に保護者が相談しやすい環境を維持しながら、必要に応じて個別面談の導入も検討します。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	4	2	5		夏休みの保護者交流会を継続し、今後はきょうだいの参加できるイベントの企画を検討し支援の幅を広げます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	0	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1	0	0	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1	1	0	引き続き個人情報の取扱いには十分に留意して支援をしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	3	0	4	玄関掲示での周知を継続し、BCP委員会と連携して訓練を実施していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	4	0	4	毎月1回以上の防災訓練を継続して実施していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1	0	2	子ども達の安全を十分に確保した上で支援を行います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	0	1	今後も速やかな連絡と丁寧な説明を徹底していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	0	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スマイル				公表日 令和7年11月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	集団スペースと個別のスペースを分けて確保できている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	適切であると思う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	特性に合わせた伝達方法の検討、実施がされている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	片付け、清掃が適切に行われている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	スタッフと相談し利用することが認められている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	日々の振り返り+支援方法の検討が行われている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	アンケートを実施している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	つなげている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	毎月研修が行われている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	協議・共有が行われている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	行われている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	確認されている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	設定されている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	行っている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	新しい活動を適度に追加し、提案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	計画がされている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	ミーティングが実施されている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	翌日に行われている。必要に応じて都度報告している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎日記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6	0	各自行われている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	努めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	努めている。	事業所内での共有をより行う
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	している。	事業所内での共有をより行う
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	あまり活発でない。	人的・時間的余裕がなく、連携のための調整に手が回らない。相談の窓口や手順が不明確なため、助言の機会を確保しにくい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	あまりない。	人員や時間の余裕がなく、地域との調整が難しい。さらに交流のきっかけや関係性が築けておらず、参加の機会が少ない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日々のフィードバックや定期的なモニタリング実施により図っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	イベントを企画実施している。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	行われている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	SNS等を活用し、相談・助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	1	もっと増やせるかもしれない。	すでにある機軸の周知等を行う
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	あまりしていない。	安全管理や人員不足、地域とのつながりの薄さ、責任範囲の曖昧さから、地域向け行事の実施が難しい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	毎月実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	委員会を設け、定期的に協議されている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	行われている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	十分でないかもしれない。	ウェブサイトへ掲載予定
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	共有、検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	決定、共有されている。		